



～音楽が紡ぐ“縁”～

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第389回定期演奏会 THE 389TH SUBSCRIPTION CONCERT



指揮  
レオポルト・ハーガー  
Conductor  
Leopold Hager

©Casa da Música / João Messias



ヴァイオリン  
神尾 真由子  
Violin  
Mayuko Kamio

※当初の予定からソリストを変更いたしました。

## 2019.4.14 (日)

15:00開演〔14:00開場〕

Sun Apr 14, 2019 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 <ベートーヴェン・コンチェルト・シリーズ>

Beethoven : Violin Concerto in D major Op.61

ブラームス：交響曲第2番ニ長調

Brahms : Symphony No.2 in D major Op.73

Concertmaster : 佐久間 聡一 Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)

S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円(学生券1,500円)

(学生券は広響事務局のみで取り扱い。※学生券は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。)

チケット発売日/2019年2月14日(木)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン  
アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場  
ローソンチケット(Lコード:61537)・チケットぴあ(Pコード:142-480)・中国新聞社読者広報部  
中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

プレミアム協賛/ TANAKA ELECTRIC INDUSTRIES CO., LTD.  
田中電機工業株式会社

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、  
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL : 082-532-3080

広響公式ホームページ ▶  
HP : <http://hirokyo.or.jp>

  
beyond  
2020



## 2019シーズン開幕、Mr.レジェンド!

広響2019年度定期は、音楽が紡ぐ様々な“縁”をテーマにお届けします。「この度レオポルト・ハーガー先生を広響定期にお迎えできることは何よりも嬉しく、幸せなことです」と語るのは我が総監督の下野竜也。ウィーンで学んだ指揮者のプロフィールに必ずといっていいほど記載されている「レオポルト・ハーガーに師事」という文面。首席客演指揮者のクリスティアン・アルミンクも門下生の一人。新年度の幕開けはその83歳を迎えるMr.レジェンドの登場です。ソリストは広響定期に11年ぶりの出演となる神尾真由子を迎えます。当初出演を予定していたヴィルデ・フラングに代わり急遽出演が決定しました。ベートーヴェン生誕250周年を祝う2020年に向けたプロジェクトの第1歩。そして「2019ヴァイオリン祭り」の開幕です!



指揮/レオポルト・ハーガー

Conductor / Leopold Hager

ザルツブルク・モーツァルテウム大学で指揮、オルガン、ピアノ、チェンバロ、作曲を学ぶ。  
マインツ、リンツ、ケルンで数々のポストを歴任し、その後フライブルク・イム・ブライスガウの音楽総監督、モーツァルテウム管弦楽団の首席指揮者、1996年までRTL響の音楽監督を務めた。1992年から2004年までウィーン国立音楽大学で指揮法を指導する。  
2005年から2008年まで、ウィーン・フォルクスオーパーで首席指揮者を務め、ソフィーの選択、魔笛、トゥーランドット、魔弾の射手、椿姫、ホフマン物語、フィガロの結婚、ニュルンベルクのマイスタージンガーを指揮し、日本やスペインでも高い評価を得ている。  
長年に渡りウィーン国立歌劇場に客演する他、バイエルン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ロイヤル・オペラ・ハウス、ブラハ国民劇場などの世界的歌劇場にも出演している。また、これまでにウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、シュターツカペレ・ドレスデン、バンベルク交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、パリ管弦楽団などの一流オーケストラを指揮している。2015年から2017年にはポルト・カーザ・ダムジカ管弦楽団の首席客演指揮者を務めた。  
モーツァルトの解釈でよく知られ、知名度の低い初期作品にも光を当てている。数多くの録音作品にはモーツァルトのピアノ協奏曲やアリアの全曲などがある。



ヴァイオリン/神尾 真由子

Violin / Mayuko Kamio

4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。ニューヨーク・タイムズ紙でも「聴く者を魅了する若手演奏家」「輝くばかりの才能」と絶賛される。  
これまで、国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー交響楽団、BBC交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ブダペスト祝祭管弦楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。サン・モリッツ、コルマル、ヴェルビエなどの著名フェスティバルにも出演。  
レコーディングではRCA Red Sealレーベルより「バガニーニ:24のカプリース」「チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲」をリリースしており、2012年秋にはフランク、ブラームス、シュトラウスを収めたCD「ロマンティック・ソナタ」をリリースした。  
これまで里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・プロンの各氏に師事。  
大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞している。

2019.5.24(金)

広島交響楽団  
第390回  
定期演奏会

広島文化学園HBCホール  
18:45開演(17:45開場)

### 下野・広響、ブルックナーへの飽くなき探求

下野竜也がブルックナーに心酔する所以は下野の“縁”によるものと言えます。朝比奈・大阪フィルでの研鑽、ウィーンへの留学、読響でのスクロヴァチェフスキとの出会い、そして別れ…広響も下野との縁が結ばれたことで、ブルックナーが楽団の重要なレパートリーとなり、深みを増しつつあります。下野3年目のブルックナーは「第5番」をチョイス。ブルックナー・ファンの中には、後期3大交響曲よりも第5番を推す人も多く聞きます。構築性とその壮大さから、ブルックナーの核心の扉を開く重要な作品と言えます。これは絶対聴き逃せません。

ブルックナー:交響曲第5番変ロ長調(原典版)

Bruckner: Symphony No.5 in B-flat major WAB.105 (Original version)

指揮/下野 竜也  
Conductor: Tatsuya Shimonoあなただけの  
マイシート

2019年度

定期全10回公演

S席/37,500円 A席/33,500円 B席/29,500円

年間定期会員募集のご案内

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2019年2月7日~4月12日)